

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム めくもり作成日: 令和 5 年 11 月 8 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	災害対策	年4回避難訓練を行っているが、特に居室が2階(7名)と1階(2名)いることから、夜勤者一人で9名の利用者を安全に避難誘導する訓練を繰り返し行っていく。	夜勤に入る職員を中心に、夜間帯の避難誘導の手順や併設事業所職員、近くに住む職員、地域住民への協力要請の手順等、具体的な動きと協力体制を確認し、シミュレーションを重ね、いざという時に慌てないようにしっかりと準備していく。	12ヶ月
2	11	運営に関する利用者、家族等意見の反映	ここ数年のコロナ禍の中で、家族との関わりが薄れたように感じる。コロナ収束後には、以前のような関係を築くことが出来るよう発信を強化し、家族とのコミュニケーションに力を入れていく。	新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたので、コロナ状況を判断しながら、家族交流会を行事を兼ねて開催し、ホームと家族、家族同士の関係作りに取り組んでいく。また、家族と職員がコミュニケーションを取りながら、利用者を共に支えていく関係を築いていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。